今後のオキシダント対策の評価フロー

資料3

第一回光化学オキシダント調査検討会を踏まえ、
今後のオキシダント対策の評価フロー（平成２３年度報告）について修正した。

施策目標の観点からシミュレーションの要求精度等を検討

施策目標の設定

優先対策地域の選定
評価基準・評価指標の選定

実施可能な対策の設定

現状の光化学オキシダント濃度や前駆物質の排出状況も踏まえ、実施可能な対策オプションを想定し設定

シミュレーション条件設定

領　域：地域内生成
　　・他地域から影響を考慮
期　間：時間変動の考慮
ケース：ケースの種類と数

排出インベントリの精緻化

植物起源VOCなど、インベントリの精緻化

シミュレーションの精度検証

実測値と計算値の差
過去のトレンドの再現
不確実性を含む排出インベントリに対する感度　等

シミュレーションによる対策の検討・評価

現状の汚染要因の検討
将来予測（将来の排出量や他地域の影響の変化を考慮）
対策検討
　１．NOｘ・VOC排出量とOx濃度の感度解析
　２．実現可能な対策効果の検討

モニタリングの充実

常時監視の適正な実施
VOCモニタリングの拡充　　など

モニタリングデータを活用した解析

モニタリングデータの多角的解析
評価指標の設定に向けた統計解析
気象影響を除いた統計解析
ポテンシャルオゾンを用いた解析
NOｘ・ＶＯＣ依存性解析
高濃度事例の解析
週末効果に着目した解析　　など